水と土の科学　第８回「水質」（平成３０年１１月３０日，渡部徹担当）

遅くなって申し訳ありません。講義内容に関する皆さんからの質問（全部ではありませんが・・・）に，以下の通りお答えします。

私は小学校の時、住んでいた地域の川を炭などで綺麗にする活動をした事があるが、全然綺麗になった気がしなかった。やはり一朝一夕では水質を改善するのは難しいとそのとき実感した。

【渡部】そうですね。だからこそ，汚濁物質を出さないことが大事です。

昔 TV 番組のサバイバル企画でペットボトルに砂利や炭、葉などを重ねたろ過装置で川の水をろ過していたのを思い出しました。汚水などを通すと透明な水になって出てきたのですが、水質的には問題なかったのか疑問に思いました。

【渡部】そうですね。透明だから安全，というわけではありません。ただ，命の危機を迎えた状況では，水質に多少不安があっても，飲まなければいけないこともあるかもしれませんよ。

富栄養化とマングローブ林は関係ありますか？

【渡部】マングローブは木ですからね。富栄養化との直接の関係はないでしょう。

かつての工場排水としての有機水銀は有機汚染にあてはまりますか？

【渡部】水俣病の話ですね。あれは，有機汚濁とは呼びません。

温泉水などの自然汚染は汚染と呼ぶのは的確ですか？

【渡部】水質を悪くしていることは確かですので，汚染と呼べるでしょう。

アオコが発生する原因は水中に養分がたくさんあることが原因とのことでしたか、それなら、夏の強い日射じゃなくて冬の弱い日射でも光合成する必要なく周りの養分を用いて増えることができそうだと思いましたがどうなんでしょう？

【渡部】日本の冬の弱い日射では，どれだけ周りに栄養分があってもアオコは発生しません。

マイクで声が届いていることを知っておいてください。

【渡部】知っているつもりですが，何か不適切な発言がありましたか？